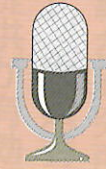




CLEANER'S VOICE 読者のページ



アレルギーで悩む方々に、
クリーニング業だから
出来ること…

この度群馬県組合では、ある小冊子を作成いたしました。今や日本国民の二人に一人が抱えていると言われているアレルギー。代表的なものでは花粉症もそれに当たります。季節の変わり目などの一過性な症状は、単なる話題で過ぎてしまいません。しかしシーズンも関係なく24時間365日、このアレルギーと相對している人の数は想像を絶する値になっているのが現状だと思います。テレビのCMで小麦アレルギーのた

めパンが食べられない子供に米粉で作ってあげたら友達と一緒に、美味しそうな笑顔で頬張る。そんなシーンがありました。食物アレルギーで苦しんでいる子供達や親御さんの心配は日常絶えないでしょう。それと同じようにアトピー性皮膚炎で悩んでいる方も大人から子供まで、たくさんいると聞いております。乾燥やホコリ、カビまたはダニ、ハウスダストなど、衣類や寝具においても、その素材や環境に注意を図るのは必須です。

そんな中、ドライクリーニングそのものが症状に悪影響を及ぼすという事例を聞き、私達クリーニング業を営む者が出来ることは何かないか…と言う思いから今回の事業は始まりました。幸い、群馬県組合には環境アレルギーアドバイザーの資格を持つ、寝具クリーニングの業者さんがおられました。過去数回に渡り青年会議などで講師をお願いしたこともある方でした。

「クリーニング業者は医療の知識はない、しかし医療に携わる人もクリーニングのスキルはない。そして、環境を整えられるのは当事者とその家族。私達には繊維を中心とした環境を整えられるスキルを持っている。それだったら我々がタッグを組んで、

当事者達に何か出来ないものか？」そんな彼の一言により、事業が進みました。寒い冬、綿のセーターではなく、暖かいウール素材のセーターを着てもらいたい。ドライでなく水で、ウエットで安心して気持ちよく着て頂きたい。私達はそれが出来るはずですよ。

余談ですが「ウエット」って消費者からはピンと来ないかもしれませんね。出来れば花粉症だけでなく、アレルギー性皮膚炎や喘息で苦しんでいる方、そして支え続けている家族にアレルギー（アレルギー症状を引き起こす原因物質）除去に有効な洗濯方法であることを分かりやすく、消費者が親しめる愛称が欲しいものです。

そして昨年、まずは理事会内での

セミナーを開き、参加者には「研修修了書」とポスターを配布することと致しました。新年には県組合員の他、一般の方々にも多く出席して頂き2月に大型ショッピングセンターのホールで大々的に開催する予定です。

全国の各単組におかれましても「みんなの街のクリーニング屋さん」としてこの活動に賛同して頂けることを願っております。皆様の都道府県名で使用していただいても結構です。是非とも群馬県組合事務所にお問合わせください。また、この小冊子は県内の医療機関、学校、図書館、企業、各個人商店などにもお願いして広く配布したいと考えております。

群馬県組合 電話番号
027-231-1690

(群馬県組合広報委員 高山素彦)



昨年11月の理事会の様子。小冊子の作成に関わった環境アレルギーアドバイザーの資格も組合員さんにもご出演いただきました

**家庭で対策！
環境とアレルギー**

家庭とクリーニング屋さんのアレルギー対策

群馬県組合で作成した冊子です。県内の様々な業種の店舗などで配布していただく予定です

監修：群馬県クリーニング生活衛生同業組合
監修：一般社団法人日本環境衛生同業組合
監修：一般社団法人家庭環境衛生管理協会